

京都
あやべ

くろ たに
黒谷和紙と

もみじ祭

今から八百年前戦いに敗れた平家の一団が、山間に身を隠し、周りに自生していた植物「楮」と、谷間を流れる清流の水を利用し、紙作りを始めました。時は流れ、今では紙漉き村として親しまれています。

現在では国内の他、海外にも輸出され、アート現場や絵画の修復で使われるなど、黒谷和紙の強靭さを生かし、さまざまな用途で使われています。

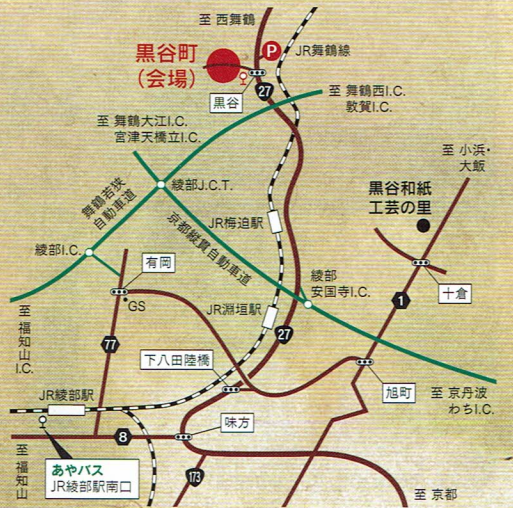


「紙叩き」 金山ちづ子作

私しや 紙すき
主しや 紙叩き
なんの 苦勞ぞ
秋の 風

紙叩き

「昼は紙すく^{ばん}げは叩く夜さりや楮の皮のむく」と古い紙すき唄に唄われた様に、手を休めれば金にならない仕事のため、昔の人等は寸暇を借しんで働いたのだ。きびしさの中からこそ強くそして美しいものが生まれるのではないだろうか。(紙すき村黒谷)



※お昼前後、駐車場が混み合う時間帯があります

2017年 11月12日 日

会場 京都府綾部市黒谷町

時間 A.M.10:00~P.M.3:00

お問い合わせ

黒谷和紙協同組合

☎0773-44-0213 (月~金、A.M.9:00~P.M.4:30)

〒623-0108 京都府綾部市黒谷町東谷3

主催:黒谷和紙協同組合青年会 共催:黒谷和紙協同組合

後援:京都府、綾部市、京都府中小企業団体中央会、綾部商工会議所、綾部市観光協会、黒谷自治会、黒谷老人クラブ

「黒谷和紙」は黒谷和紙協同組合の登録商標です

小雨
決行
(荒天中止)



JR 綾部駅南口

地域巡回バス あやバス

行 10:17 発 → 10:44 着

14:22 着 ← 13:55 発 帰

17:22 着 ← 16:55 発 帰

黒谷和紙会館前